

## 『大原社会問題研究所雑誌』 2016 年度総目次

- (1) 2008～2012年度の総目次については2012年4月号（No.654）、2013年度以降の総目次については各年4月号（2013年度No.666、2014年度No.678）を参照されたい。
- (2) 『資料室報』第1号～『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次については、2008年10・11月号（No.599・600）を参照されたい。
- (3) なお、大原社会問題研究所 Web サイト（<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/oz/>）でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web上での公開を行っている。

### 2016年4月号 No.690

<b>【特集】第28回国際労働問題シンポジウム 中小企業とディーセントで生産的な雇用創出</b>	
特集にあたって	鈴木 玲
2015年のILO総会について	上岡恵子
政府の立場から	左藤倫子
労働者の立場から	川野英樹
使用者の立場から	野村良寿
途上国における中小企業の課題と日本の国際協力	上田隆文
雇用創出における中小企業の役割と直面する課題	黒瀬直宏
パネルディスカッション	
参考資料	
<b>■研究ノート</b>	
外国人家事労働者はなぜ増加したのか——先進国の多国間比較分析	伊藤善典
<b>■書評と紹介</b>	
渋谷光美著『家庭奉仕員・ホームヘルパーの現代史——社会福祉サービスとしての在宅介護労働の変遷』	森川美絵
喜多川進著『環境政策史論——ドイツ容器包装廃棄物政策の展開』	小野 一
安藤正人・久保亨・吉田裕編『歴史学が問う公文書の管理と情報公開——特定秘密保護法下の課題』	清水善仁
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2015年度総目次	
所報	2015年12月

### 2016年5月号 No.691

<b>【特集】労働資料協第30回総会記念シンポジウム 社会労働資料活用の可能性と未来</b>	
特集にあたって	鈴木 玲
労働資料協30年を振り返る	谷合佳代子
私の労働研究とアーカイブズ	熊沢 誠
パネルディスカッション——社会労働資料活用の可能性と未来	熊沢 誠・梅崎 修・平野 泉・榎 一江・篠田 徹／コーディネーター 鈴木 玲
<b>■資料紹介</b>	
占領期日本社会党機関紙集成	立本紘之

■書評と紹介	
上林千恵子著 『外国人労働者受け入れと日本社会——技能実習制度の展開とジレンマ』	佐藤 忍
居神浩編著 『ノンエリートのためのキャリア教育論——適応と抵抗そして承認と参加』	有田五郎
奥健太郎・河野康子編『自民党政治の源流——事前審査制の史的検証』	米山忠寛
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
所報	2016年1月

2016年6月号 No.692

【特集】労働科学研究所旧蔵資料	
特集にあたって	榎 一江
労働科学研究所旧蔵森戸文庫	小池聖一
藤本文庫（洋書・和書）の移管と利用可能性——賃金制度論史をめぐる課題を中心に	兵頭淳史
藤本文庫（和書）、藤本ノート資料群と逐次刊行物について——立教大学編	菅沼 隆・田中聡一郎
藤本文庫（和書）の搬出について——大分大学編	石井まこと
労働科学研究所戦前期資料群 ——労働科学研究所による戦前から敗戦直後の収集資料群	金子良事
暉峻義等関係資料について	伊東林蔵・榎 一江

■書評と紹介	
岩佐卓也著『現代ドイツの労働協約』	大重光太郎
L. ドイヨル・I. ゴフ著／馬嶋裕・山森亮監訳／遠藤環・神島裕子訳『必要の理論』	後藤玲子
ワレン・フェレル著／久米泰介訳 『男性権力の神話——《男性差別》の可視化と撤廃のための学問』	田中俊之
野村正実著『学歴主義と労働社会——高度成長と自営業の衰退がもたらしたもの』	森 直人
長沼建一郎著『個人年金保険の研究』	畠中 亨
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 貧困研究と社会政策の展開	畠中 亨
所報	2016年2月

2016年7月号 No.693

【特集】戦後の労働戦線と日教組	
特集にあたって——日教組の歴史を検証する	広田照幸
総評結成前の労働戦線における日教組の立ち位置の選択について	広田照幸・古賀 徹・宇内一文
1973年春闘における七項目合意・五項目「念書」と日教組 ——総評資料を用いた73春闘の収拾プロセスの検証	末富 芳
1980年代における労戦再編の動きと日教組	金子良事・広田照幸

■書評と紹介	
西成田豊著『近代日本の労務供給請負業』	加瀬和俊
藤野裕子著『都市と暴動の民衆史——東京・1905-1923年』	中筋直哉
松尾浩一郎著『日本において都市社会学はどう形成されてきたか——社会調査史で読み解く学問の誕生』	森久 聡
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 環境アーカイブズ所蔵資料の整理と活用	清水善仁
所報	2016年3月

## 2016年8月号 No.694

【特集】環境アーカイブズ所蔵資料の整理と活用	
特集にあたって	清水善仁
日本のアーカイブズ界における「環境アーカイブズ」の位置	清水善仁
環境・原発問題をめぐる映像資料整理の意義と課題	西田善行
アーカイブズにおけるミニコミ資料利用の展開の可能性 ——ミニコミ資料「ブーゲンビリア」の事例分析から	野口由里子
■書評と紹介	
杉本弘幸著『近代日本の都市社会政策とマイノリティ——歴史都市の社会史』	中嶋久人
長島怜央著『アメリカとグアム——植民地主義、レイシズム、先住民』	松島泰勝
相良匡俊著『社会運動の人びと——転換期パリに生きる』	中野隆生
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 1945年から60年代までの日米財界関係——電機産業を中心に	高瀬久直
所報	2016年4月

## 2016年9・10月号 No.695・696

【特集】新自由主義とジェンダー平等——経済学とケアの視点から	
特集にあたって	藤原千沙
社会的投資アプローチとジェンダー平等——批判的考察	原 伸子
2000年代における女性労働とケアの現状——低年齢児童を持つ家族の労働と保育	蓑輪明子
フォーマルなケア供給体制の変化とケア労働への影響 ——保育士の非正規雇用化に揺れる公立保育所の職場集団	小尾晴美
■講演	
現実の研究より奇なり——貧困とセーフティネットを追いかけて	岩田正美
■証言：戦後社会党・総評史	
戦後革新と基地・公害・住民運動——仲井 富氏に聞く	
■書評と紹介	
下夷美幸著『養育費政策の源流 ——家庭裁判所における履行確保制度の制定過程』	水野紀子
武田尚子著『20世紀イギリスの都市労働者と生活 ——ロウントリーの貧困研究と調査の軌跡』	赤木 誠
杉田真衣著『高卒女性の12年——不安定な労働、ゆるやかなつながり』	大澤真平
大槻奈巳著『職務格差——女性の活躍推進を阻む要因はなにか』	阿部正浩
ジョン・ジェラルド・ラギー著／東澤靖訳 『正しいビジネス——世界が取り組む「多国籍企業と人権」の課題』	菅原絵美
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所 2015年度の歩み	
月例研究会 韓国における労働安全衛生運動と専門知識の政治	金 直洙
所報	2016年5・6月

## 2016年11月号 No.697

【特集】「1968年」と社会運動の高揚（1）	
特集にあたって	鈴木 玲
1960年代と「ベ平連」	松井隆志
いやがらせの思想——「ベトナムに平和を！」神戸行動委員会の経験	黒川伊織

全共闘とはなんだったのか ——東大闘争における参加者の解釈と意味づけに着目して	小杉亮子
<b>■書評と紹介</b>	
法政大学大原社会問題研究所 原伸子・岩田美香・宮島喬編 『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』	佐久間孝正
鈴木 均著『サッチャーと日産英国工場——誘致交渉の歴史 1973-1986年』	増田壽男
山口 覚著『集団就職とは何であったか——〈金の卵〉の時空間』	中澤高志
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 共催：子どもの労働と貧困プロジェクト 母子世帯の口述史からみた家族と階層	江沢あや
所報	2016年7月

## 2016年12月号 No.698

<b>【特集】「1968年」と社会運動の高揚（2）</b>	
「1968」大学闘争が問うたもの——日大闘争の事例に即して	荒川章二
組織労働者の反戦運動と経済闘争 ——10・21 ベトナム反戦スト前史における総評・全印総連の動向を中心に	兵頭淳史
<b>■論文</b>	
日本の健康保険における出産給付の起源と給付方法の変遷 ——1927年から1945年の制度変化に注目して	小暮かおり
<b>■証言：戦後社会党・総評史</b>	
社会主義政党的確立をめざして——上野建一氏に聞く	
<b>■書評と紹介</b>	
原 伸子著『ジェンダーの政治経済学——福祉国家・市場・家族』	石田好江
高橋恭子著 『戦前病院社会事業史——日本における医療ソーシャルワークの生成過程』	山村りつ
岡本 勝著『アメリカにおけるタバコ戦争の軌跡——文化と健康をめぐる論争』	山口一臣
Christer Ericsson, Björn Horgby, Shunji Ishihara, <i>Faderliga företagare i Sverige och Japan</i>	石原俊時
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 現代日本の原発労働・労働者 ——研究アプローチとフィールドワークの報告	フェリックス・ヤビンスキ
所報	2016年8月

## 2017年1月号 No.699

<b>【特集】非正規雇用と生活保障</b>	
特集にあたって	野依智子
非正規雇用の歴史と賃金思想	濱口桂一郎
「家族賃金」観念の形成と歴史的意義——1920年代を中心に	野依智子
非正規職シングル女性が直面する困難と社会的支援ニーズ	植野ルナ
<b>■論文</b>	
フレーミングの別の顔と経路依存性 ——1960年代の日本人による日韓会談反対運動を事例として	大畑裕嗣
<b>■書評と紹介</b>	
岩田正美著『社会福祉のトボス——社会福祉の新たな解釈を求めて』	岩崎晋也

飯嶋和紀著『労働組合職場組織の交渉力——私鉄中国広電支部を事例として』	中村圭介
Richard S. Newman, <i>Love Canal: A Toxic History from Colonial Times to the Present</i>	鈴木 玲
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 美容〈場〉の誕生 ——明治末から大正中期中における髪結の作家性（authorship）の成立	飯田未希
所報	2016年9月

## 2017年2月号 No.700

<b>【特集】安倍政権下の社会経済政策——労働と生活に与える影響</b>	
安倍政権の経済政策——アベノミクスの危険な坂道	竹田茂夫
安倍政権の外国人政策	明石純一
安倍政権下の労働法制・雇用政策	浜村 彰
安倍政権下における子どもの貧困対策	鷹 咲子
安倍政権の女性政策	堀江孝司
安倍政権と安保法制・憲法・外交・基地問題	五十嵐 仁
<b>■調査報告</b>	
戦前期日本の映画労働組合の変遷	中村正明
<b>■書評と紹介</b>	
武田公子著『ドイツ・ハルツ改革における政府間行財政関係——地域雇用政策の可能性』	森 周子
Bastiaan van Apeldoorn and Nanà de Graaff, <i>American Grand Strategy and Corporate Elite Networks : The Open Door since the end of the Cold War</i>	高瀬久直
早川征一郎・盛永雅則・松尾孝一編著『公務員の賃金——現状と問題点』	鬼丸朋子
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 貧困問題からみた制度派労働研究史	藤原千沙
所報	2016年10月

## 2017年3月号 No.701

<b>【特集】労働時間の不安定化と家族生活への影響</b>	
特集にあたって	鈴木 玲
ジェンダーと労働時間の編成	エレーン・マクレート ／鈴木 玲監訳
24時間週7日経済におけるワーク・ライフ・バランス	大石亜希子
<b>■証言：戦後社会党・総評史</b>	
私が歩んできた社会保障運動——総評・中央社保協体感の記録 公文昭夫氏に聞く	
<b>■書評と紹介</b>	
法政大学大原社会問題研究所／相田利雄編 『サステイナブルな地域と経済の構想——岡山県倉敷市を中心に』	三村 聡
大平佳男著『日本の再生可能エネルギー政策の経済分析——福島復興に向けて』	藤岡明房
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 EPAによる外国人看護師・介護福祉士の受入政策の問題点 ——介護サービス産業・介護労働者に与える影響を中心に	下野恵子
所報	2016年11月